



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月7日

上場会社名 ダイダン株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 1980 URL http://www.daidan.co.jp/
 代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）植林 信一
 問合せ先責任者 （役職名）取締役専務執行役員業務本部長 （氏名）河久保 弘和 TEL 06-6447-8003
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切り捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第3四半期	83,600	2.1	303	△32.9	649	80.8	43	—
24年3月期第3四半期	81,854	13.9	452	—	359	—	△319	—

（注）包括利益 25年3月期第3四半期 669百万円（－％） 24年3月期第3四半期 △178百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.97	—
24年3月期第3四半期	△7.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
25年3月期第3四半期	94,751	42,148	44.4	941.70
24年3月期	103,345	42,197	40.8	943.57

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 42,033百万円 24年3月期 42,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—		
25年3月期（予想）				11.00	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期 期末配当金の内訳 普通配当8円00銭、記念配当3円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	116,000	△5.0	2,500	△7.1	2,500	△8.7	1,200	2.1	26.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（参考）予想受注工事高「通期」121,000百万円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	45,963,803株	24年3月期	45,963,803株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,328,754株	24年3月期	1,321,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	44,638,955株	24年3月期3Q	44,677,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想
平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△4.5	2,500	△4.9	2,500	△6.0	1,200	5.1	26 .88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 予想受注工事高「通期」120,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期末近くに新政権が発足し、金融緩和の期待感等から、円安及び株高基調となりました。しかしながら、期中における生産活動及び企業収益は、緩やかな回復にとどまる程度であり、また、欧州債務問題は依然として解決に至らず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましても、民間設備投資に緩やかな回復がみられるものの、その回復に力強さはなく、未だ設備過剰感が残存する等、受注環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダン」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、厳しい受注環境ながらも、前年同四半期連結累計期間比3,502百万円増の88,443百万円となりました。

完成工事高は、受注工事高の増加等により、前年同四半期連結累計期間比1,746百万円増の83,600百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高は増加したものの、完成工事総利益率の低下により、前年同四半期連結累計期間比58百万円減の7,624百万円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が前年同四半期連結累計期間比90百万円増加したこと及び完成工事総利益の減少により、前年同四半期連結累計期間比148百万円減の303百万円となりました。

経常利益は、前年同四半期連結累計期間の為替差損231百万円が、当第3四半期連結累計期間においては為替差益193百万円に転じたこと等により、前年同四半期連結累計期間比290百万円増の649百万円となりました。

四半期純損益は、投資有価証券評価損が前年同四半期連結累計期間比163百万円減の159百万円となったこと等及び経常利益の増加を受け、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び少数株主利益を控除した結果、43百万円の四半期純利益（前年同四半期連結累計期間は319百万円の四半期純損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は73,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,055百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（1,191百万円）及び受取手形・完成工事未収入金の減少（10,006百万円）等によるものです。固定資産は21,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,461百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加（379百万円）、投資有価証券の増加（752百万円）及び前払年金費用の増加（535百万円）等が、無形固定資産の減少（130百万円）等を上回ったことによるものです。

この結果、総資産は94,751百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,593百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は48,737百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,630百万円減少いたしました。主な原因は、支払手形・工事未払金の減少（7,564百万円）、短期借入金金の減少（597百万円）及び未払法人税等の減少（457百万円）等によるものです。固定負債は3,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債の増加（503百万円）が、長期借入金金の減少（338百万円）及び退職給付引当金の減少（62百万円）等を上回ったことによるものです。

この結果、負債合計は52,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,545百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は42,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。主な要因は、剰余金の配当（714百万円）等が、四半期純利益の計上（43百万円）及びその他有価証券評価差額金の増加（582百万円）等を上回ったことによるものです。

この結果、自己資本比率は44.4%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月8日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,663	21,472
受取手形・完成工事未収入金	57,434	47,428
有価証券	99	99
未成工事支出金	466	1,055
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,228	1,105
その他	1,867	2,542
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	83,754	73,699
固定資産		
有形固定資産	3,267	3,647
無形固定資産	590	459
投資その他の資産		
投資有価証券	8,118	8,870
前払年金費用	5,929	6,465
その他	2,497	2,437
貸倒引当金	△814	△829
投資その他の資産合計	15,731	16,944
固定資産合計	19,590	21,051
資産合計	103,345	94,751

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	41,235	33,670
短期借入金	6,233	5,636
未払法人税等	489	31
未成工事受入金	2,404	2,826
賞与引当金	—	799
役員賞与引当金	—	44
完成工事補償引当金	168	182
工事損失引当金	1,152	882
その他	5,682	4,663
流動負債合計	57,367	48,737
固定負債		
長期借入金	1,623	1,284
繰延税金負債	63	567
退職給付引当金	1,433	1,370
環境対策引当金	220	220
海外投資損失引当金	5	2
長期未払金	433	420
その他	0	0
固定負債合計	3,780	3,865
負債合計	61,148	52,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	32,889	32,218
自己株式	△647	△650
株主資本合計	41,531	40,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	1,147
為替換算調整勘定	27	28
その他の包括利益累計額合計	591	1,175
少数株主持分	73	115
純資産合計	42,197	42,148
負債純資産合計	103,345	94,751

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
完成工事高	81,854	83,600
完成工事原価	74,170	75,975
完成工事総利益	7,683	7,624
販売費及び一般管理費	7,230	7,320
営業利益	452	303
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	138	147
受取保険料	98	98
為替差益	—	193
その他	46	35
営業外収益合計	294	485
営業外費用		
支払利息	119	117
支払保証料	13	11
為替差損	231	—
その他	23	9
営業外費用合計	388	139
経常利益	359	649
特別利益		
固定資産売却益	27	—
移転補償金	34	—
特別利益合計	61	—
特別損失		
固定資産除却損	23	37
投資有価証券評価損	322	159
ゴルフ会員権評価損	11	2
特別損失合計	357	199
税金等調整前四半期純利益	63	450
法人税、住民税及び事業税	104	70
法人税等調整額	267	296
法人税等合計	371	366
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△308	83
少数株主利益	11	39
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△319	43

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△308	83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	582
為替換算調整勘定	15	3
その他の包括利益合計	130	585
四半期包括利益	△178	669
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183	627
少数株主に係る四半期包括利益	5	41

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）

（単位：百万円）

		前第３四半期連結累計期間		当第３四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）		（自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）		（自平成23年４月１日 至平成24年３月31日）	
		金 額	構成比％	金 額	構成比％	金 額	％
受 注 工 事 高	電 気 工 事	17,454	20.6	16,866	19.1	23,195	19.5
	空 調 工 事	49,202	57.9	53,199	60.1	68,541	57.4
	水道衛生工事	18,283	21.5	18,376	20.8	27,496	23.1
	合 計	84,940	100.0	88,443	100.0	119,233	100.0
	（リニューアル工事）	51,245	60.3	42,656	48.2	66,916	56.1
	（海 外 工 事）	7,379	8.7	4,345	4.9	10,407	8.7
完 成 工 事 高	電 気 工 事	13,805	16.9	17,398	20.8	21,729	17.8
	空 調 工 事	51,385	62.8	48,444	58.0	75,858	62.1
	水道衛生工事	16,663	20.3	17,757	21.2	24,521	20.1
	合 計	81,854	100.0	83,600	100.0	122,109	100.0
	（リニューアル工事）	40,185	49.1	43,933	52.6	62,894	51.5
	（海 外 工 事）	4,479	5.5	5,636	6.7	7,169	5.9
繰 越 工 事 高	電 気 工 事	13,751	15.7	11,036	12.8	11,567	14.2
	空 調 工 事	52,876	60.3	52,497	60.6	47,742	58.4
	水道衛生工事	21,040	24.0	23,015	26.6	22,396	27.4
	合 計	87,668	100.0	86,549	100.0	81,706	100.0
	（リニューアル工事）	32,234	36.8	23,918	27.6	25,196	30.8
	（海 外 工 事）	4,319	4.9	3,366	3.9	4,657	5.7